

大学等名：千歳科学技術大学

テーマ：テーマV（卒業時における質保証の取組の強化）

本AP事業を、本学の中核事業と位置づけ、GP等の成果を一体化させて本学の教育改革を加速させる。具体的には、学力観を意識したコンピテンシーベースのディプロマ・ポリシーに改訂し、カリキュラムの体系化（「CIST質保証マップ」の構築と、科目の達成目標と関連づけ）を図る。その上でコンピテンシー養成のためにICT活用教育環境の構築（CBT、行動履歴可視化機能、eポートフォリオ、授業ポータル）を行う。並行して、初年次系修学支援室の体制強化、キャリア教育とクラスアドバイザーの実働、専門科目・指導教員によるパフォーマンス評価を行う。これらを組み合わせ、反転学修とアクティブ・ラーニングなどの推進とディプロマ・サプリメントの活用などにより、授業改善を一体的に行う。本AP事業は、これらを学修過程・学修成果の可視化として提示し、社会の要請に基づく質保証に応え、以って高大接続システム改革に資する教育システムの確立を目指す。

【取組の背景】

理工系の就職を前提としたカリキュラム運用の難しさが浮き彫りとなり、近年退学者が増加していることから、カリキュラム・ポリシーの実質化が必要となった。さらに卒業生調査及び企業による外部評価委員会答申等から、知識定着からコンピテンシーを重視したカリキュラムへの改訂が必要とされ、ディプロマ・ポリシーの実質化が求められている。

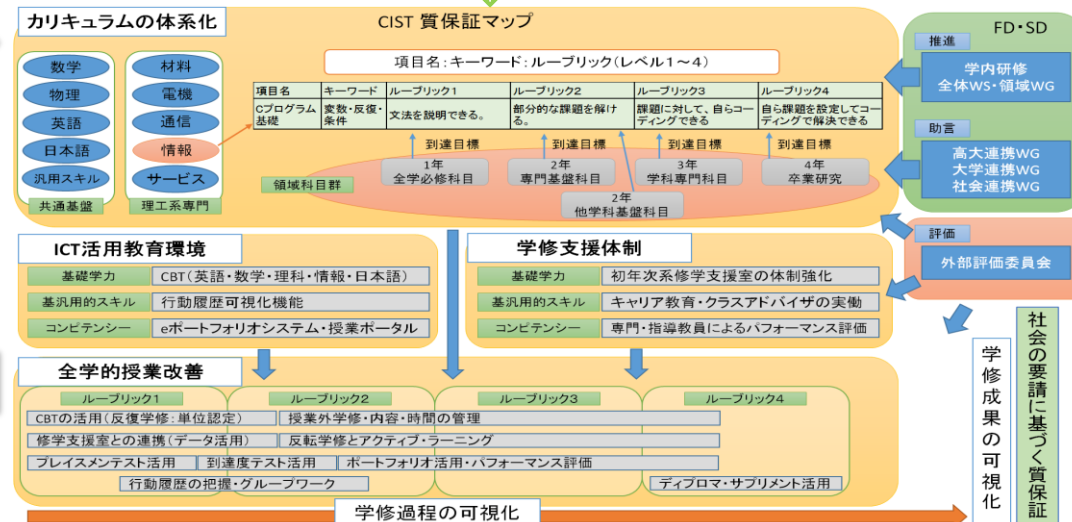
本学の卒業時における質保証の取組の強化の取組

【取組の主な成果及び波及効果】

- ①学外の人材と本学教員との意見交換
→社会の要請に基づくディプロマサプリメント作成
- ②コンピテンシーベースのディプロマ・ポリシー策定
→本学質保証方針の明確化
- ③「CIST質保証マップ」の整備
→アドミッションポリシーの担保並びにディプロマ・ポリシーの実質化及び科目間の知識・専門領域・養成すべき能力的な広がりを経験者、学生及び社会で共有
- ④コンピテンシーを意識した教育手法の拠点化
→北海道の教育力向上に寄与

本取組の成果及び波及効果

教育改革推進委員会



【事業の成果】

	28年度 (実績値)	31年度 (目標値)
学生の授業外学修時間 (1週間当たり)	12.9時間	36時間
卒業生追跡調査の実施率 (調査回答者数 / 卒業生数)	16.1%	20%
CIST質保証マップの適用率 (マップ摘要科目 / 理工学部全科目)	66.3%	100%

- ・本事業実施により、主体的な学びへの転換及びキャリア教育と専門教育の有機的連動を通じた社会の要請に基づく人材育成や質保証の可視化に関する本学の教育改革が加速される。
- ・本事業実施により、知識定着からコンピテンシーを重視したカリキュラムへの転換、それに伴う反転学修及びアクティブラーニングの普及が促され、一体的な授業改善が可能となる。